

#3 水力発電所の主役:ダム構造物



福島県下郷発電所 大内ダム (ロックフィルダム)

大内ダム (J-POWER) は、高さ102m、堤長340m、堤体積446万 m^3 の威容を誇る、代表的なロックフィルダムである。ロックフィルダムとは、岩石や土砂を積み上げて構築する形式のダムであり、堤体中心部には、遮水壁 (コア) を設けることにより遮水性が確保される。(提供: J-POWER[電源開発(株)])



十津川第二発電所 二津野ダム (アーチ式コンクリートダム)

高さ76m、堤長211m、堤体積12万 m^3 の構造諸元を持つ二津野ダムは、華麗な曲線フォルムを魅せるアーチ式コンクリートダム。堤体材料としてコンクリートを用いるコンクリートダムは、重力式、アーチ式、バットレス方式、中空重力式に分類される。アーチ式コンクリートダムは、水圧作用側に張出すアーチ形状により水圧荷重を合理的に支え、両岸の岩盤に伝えることができる。(提供: J-POWER[電源開発(株)])